

令和7年度 学校評価の結果報告

1 アンケートについて

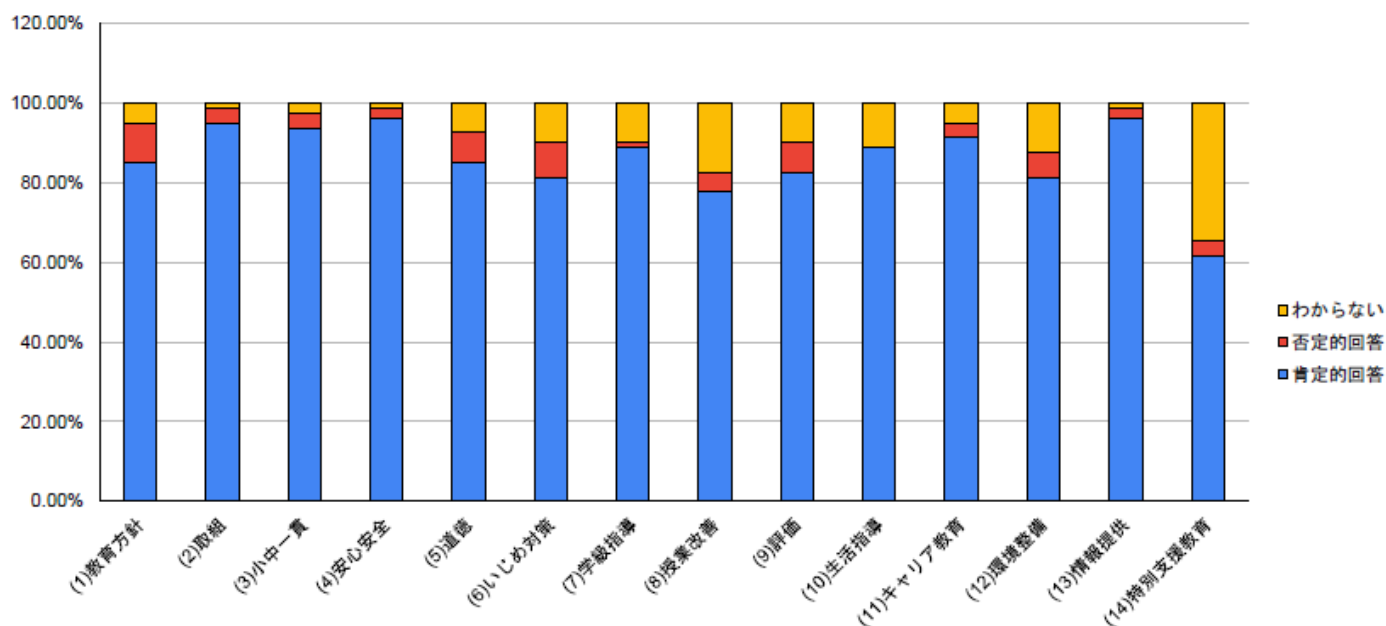
【実施期間】 令和7（2025）年12月1日～12月25日

【回答数】 81件（家庭数175 回収率46%）

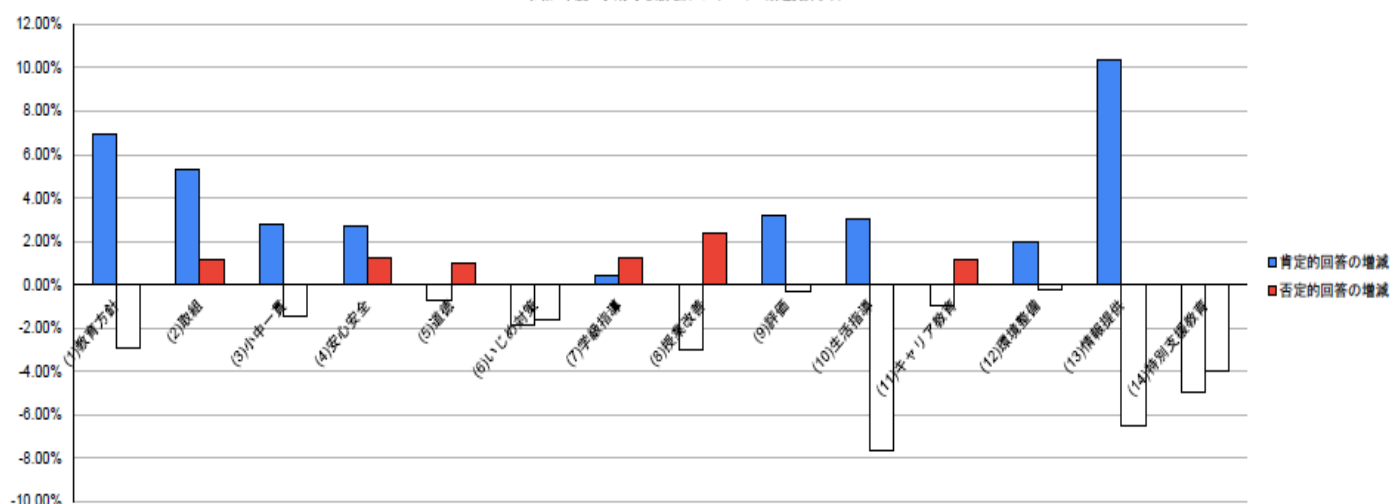
【質問内容】

		あてはま る	ややあて はまる	あまりあて はまらない	あてはま らない	わからな い
1	恩方中学校の教育方針（『地域に愛される学校・生徒が通いたい学校・保護者が通わせたい学校』を作るために）を知っている。	41	28	7	1	4
2	恩方中学校が力を入れている取り組み（読書、地域学習（福祉体験・職場体験・勇払中交流）、安全指導、補充学習）について知っている。	53	24	1	2	1
3	恩方中学校が、恩方第一小学校、恩方第二小学校、元木小学校と合同で取り組み（小中一貫教育の日、小6体験授業、引取訓練）を知っている。	72	4	2	1	2
4	恩方中学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	62	16	0	2	1
5	恩方中学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	41	28	5	1	6
6	恩方中学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	38	28	6	1	8
7	子どもの学級では、授業や学校行事に意識的に取り組むよう、指導が行われている。	48	24	1	0	8
8	授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT 機器（1人1台の学習用端末などを含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。	39	24	4	0	14
9	学習活動に対する評価は適切・公平である。	40	27	4	2	8
10	恩方中学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	53	19	0	0	9
11	恩方中学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	60	14	2	1	4
12	恩方中学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	33	33	4	1	10
13	恩方中学校は、保護者に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。	66	12	2	0	1
14	恩方中学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。	31	19	3	0	28

令和7年度2学期 学校評価アンケート（保護者）



令和7年度2学期 学校評価アンケート（保護者向け）



前回（令和7年度1学期）との差

2 アンケート結果

各設問の回答傾向は前回と比べて9項目で肯定的意見が増加し、10項目で肯定的意見が85%を超える結果となり、本校の教育活動に多大なるご理解をいただけております。日頃からありがとうございます。

とくに、保護者および地域の皆様から高い理解を得られているものと、本校の課題である設問について以下本校として見解を述べます。

【肯定的な回答がとくに多かった設問】

設問2「恩方中学校が力を入れている取り組み（読書、地域学習（福祉体験・職場体験・勇払中交流）、安全指導、補充学習）について知っている。」

設問3「恩方中学校が、恩方第一小学校、恩方第二小学校、元木小学校と合同で取り組み（小中一貫教育の日、小6体験授業、引取訓練）を知っている。」

設問4「恩方中学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。」

設問11「恩方中学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。」

設問13「恩方中学校は、保護者に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。」

上記の5つの設問はどれも90%を超え、中には95%以上の肯定的な回答を示すものもありました。5つの設問に共通していることとしては、『ホームページやホーム&スクール、キャリアパスポートを通して保護者に情報がしっかりと届いているもの』であると分かりました。日頃の中学生の取り組みが保護者のもとに届くよう、これからも上記ツールを用いていきます。

【肯定的な回答が少なかった設問】

設問8「授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器（1人1台の学習用端末などを含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。」

設問14「恩方中学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。」

上記2つの設問はどちらも肯定的な回答が80%に満たなかった設問となります。詳しく見ると、設問8については「わからない」の回答が17%、設問14においては34%の回答となりました。設問14の特別支援教育については、デリケートな内容もあり情報発信に配慮をする必要がありますが、少しでも恩方中学校の特別支援教育について理解をしてもらえるような情報発信および取り組みに務めて参ります。設問8においても、アクティブラーニング（学習者が主体的に学ぶ学習）の取り組みを各教科の先生は多々行っております。日頃の授業の取り組みについても、保護者および地域の皆様に情報が届くよう努めてまいります。

恩方中学校では、これからも保護者・地域の方と一緒に子どもたちを指導して参ります。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。